

科目名	フランス文化論AⅡ						
英語科目		ナンバリング	(https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n)を参照				
開講期	秋学期	開講学部等	外国語学部	配当年次	2年次	単位数	2単位
教員名	竹中 徹						

授業概要／Course outline

フランスに関する基本的知識としてのフランスの地理を学ぶ。フランスの地域圏別に地勢、地誌、伝統、産業などについて、地域の特徴が生まれた背景などをふまえて解説する。また、各地方間のつながりや地方と中央のつながり、コミュニケーションや県の枠組みを越えたまとまりなどについて、流通経済、通勤・生活圏、言語、人口問題などのテーマも踏まえながら、自然地理学的・人文地理学的見地を総合して学んでいく。さらに EU におけるフランスの立ち位置や、グローバル化の世界におけるフランスについても考えたい。

授業形態、授業方法等／Course form・type

【授業形態】

対面授業

【授業方法】

講義

- ・ ICT を活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））

オンデマンド授業については moodle で行う。

内容に関する感想・質問は moodle で提出してもらい、次の対面授業内でそれぞれコメントする。

- ・ その他

毎回の授業で使用するプリント（とくに図表など）については、moodle によって配布します。

各自ダウンロードして予習・復習に利用してください。授業内では図表はプロジェクターで表示しますが、見づらい場合もありますので、あらかじめダウンロードしたうえで自身のパソコン・タブレットなどで利用すると便利です。

また毎回の授業のおわりに、授業内容に関する質問やとくに印象に残った事柄、感想、その他要望などを小レポートに書いてもらい、質問等については次回の授業の冒頭でとりあげます。

授業内容・授業計画／Course description・plan

※ 毎回の授業の終わりに、授業内容についての感想や質問を書いて moodle 上で提出してもらいます（小レポート）。授業への参加度の評価にも関わってきますので、忘れずに提出して下さい。

※ 質問については次回の授業の冒頭において紹介し、フィードバックを行います。

- ・ 第 1 回 イル＝ド＝フランス地域圏

この授業の概要について説明します。

その後、フランスの中心地域としてのイル＝ド＝フランスと、首都であるパリの発展について説明する。

★オンデマンド フランスの概要

フランス全体についての基礎知識として国土・交通・言語・宗教・経済・エネルギー・政治について、オンデマンド授業で概説を行う。オンデマンド授業は第 1 回授業後に 90 分授業相当の動画を moodle にて配信する。

第 6 回授業までに視聴し、感想を moodle 上でオンラインテキストで提出すること。

- ・ 第 2 回 パリの都市デザイン

前回に引き続きパリの発展と都市デザインについて説明する。

- ・ 第 3 回 ノルマンディ地域圏

パリからセーヌ川を下った北西側に位置する、オート・ノルマンディとバス・ノルマンディの歴史や特徴について考察する。

- ・ 第 4 回 オー＝ド＝フランス地域圏（「教員-学生間の対話」）

パリの北東からベルギーへといたる地域である、ピカルディとノール＝パ・ド・カレーについて解説し、地域圏内の地方ごとの歴史的・文化的な違いについて特徴を述べる。

〔なお授業時間の最後に、「教員-学生間の対話」アンケートを実施する〕

- ・ 第 5 回 グラン・テスト地域圏

シャンパーニュの主要産業であるシャンパン製造について取り上げたのち、アルザス・ロレーヌの歴史と特徴について考察する。

- ・ 第 6 回 ロワール地方

ロワール川流域に位置するサントル＝ヴァル・ド・ロワール地域圏およびペイ・ド・ラ・ロワール地域圏について、おもに古城群の存在や、特徴的風景・伝統住居・食文化を取り上げ考察する。

- ・ 第 7 回 ブルターニュ地方

ナント周辺地域およびブルターニュ地域圏について、ブルトン人アイデンティティを支える歴史や

伝統文化をとりあげ解説する。

・第8回 ブルゴーニュ＝フランシュ・コンテ地域圏

この地域の発展に大きな役割を果たした修道院や「ブルゴーニュ国家」の存在について解説したのち、ワインや食文化との関係を考察する。

・第9回 ヌーヴェル＝アキテーヌ地域圏

アキテーヌ、ギエンヌ、ガスコーニュという呼び名の違い、ボルドー周辺のワイン生産の発展について、さらにポワトゥー・シャラント地方やリムーザン地方、バスク地方の歴史と特徴について解説する。

・第10回 オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ地域圏

フランス第2の都市リヨンの発展について考察したのち、フランス最初の英雄ウェルキンゲトリクスを生んだオーヴェルニュ、フランスに統合されたのが最も遅かったサヴォワ地方について解説する。

・第11回 プロヴァンス＝アルプ＝コート・ダジュール地域圏、オクシタニー地域圏

オック語や古代ギリシャ・ローマの記憶などの両地域に共通する特徴について説明したのち、両地域において盛んな観光産業について述べる。

・第12回 コルス地方公共団体

フランス本土でありながら独特の歴史と文化を持ち、今でも独立を求める声が存在しているコルス（コルシカ）の特色について説明する。

・第13回 海外地域圏および海外領土、地方と中央の関係について

コルスと同じく独自性が高いフランスの海外地域について説明する。

また、地方分権と中央との関係について、主に政治システムの側面から解説する。

・第14回 フランスとEUおよびグローバル世界、まとめ（「学習成果実感調査」）

EUの成り立ちとその政策に関するフランスの立ち位置、現在のフランスにおける問題を考察する。そして今学期の授業の内容を振り返り、全体のまとめを行う。

事前・事後学修／Preparation and assignments

※ 事前学習は各授業90分、事後学習も各授業90分必要である。

（オンデマンド授業も事前学習90分、事後学習90分である）

下記内容を踏まえてしっかりと事前・事後学習を行い、疑問点がないか確認すること。

※ また、授業で出されたレポート課題については、指定された期日までに調査・作成し、忘れずに提出できるように準備すること。

第1回 イル＝ド＝フランス地域圏

【事前学習】：イル＝ド＝フランス地域圏およびパリの地形、行政区分、人口、主要産業、歴史について、インターネットや旅行ガイドなどを利用しまとめ、理解しておくこと。

参考サイト：<https://www.france.fr/ja/destination/paris/> [パリ]

wikipedia [イル＝ド＝フランス地域圏]、[パリ]、[パンリュウ]

参考図書：『もっと知りたいフランス』28－49頁

【事後学習】：授業ノートを読み返して配布したプリントの内容を理解し、イル＝ド＝フランス地域圏と、「パリにおける円環的大通りの形成の歴史的背景」について整理しまとめておくこと。

★オンデマンド フランスの概要

【事前学習】：外務省のwebサイトのフランス共和国に関する基礎データなどを参照し、フランス全体についての基礎的な知識を得ておくこと。

またインターネットなどを利用し、フランスの各地域圏の場所、主要都市の位置などについて押さえておくこと。

【事後学習】：授業内容をまとめて理解を深め、とくに各地域圏や河川・山地の名前と場所について、必要に応じて参照できるようにしておくこと。そして視聴した感想をmoodle上で提出すること。

第2回 パリの都市デザイン

【事前学習】：パリの中心にあるシテ島に架かる橋の名称、ルーブル宮から凱旋門までに存在する歴史的建築物の名称と位置関係、および19世紀後半のセーヌ県知事オスマンによるパリ改造の概要について、インターネットや参考図書を利用して把握しておくこと。

参考サイト：<https://www.france.fr/ja/destination/paris/> [パリ]

wikipedia [パリの歴史軸]、[ジョルジュ・オスマン]

参考図書：『フランス文化55のキーワード』196－199、204－207頁

【事後学習】：授業ノートを読み返して配布したプリントの内容を理解し、「パリにおける『軸』を意識した都市発展」および「オスマンによる都市開発のグランド・デザイン」について整理しまとめておくこと。

第3回 ノルマンディ地域圏

【事前学習】：ノルマンディ地域圏の地形、行政区分、主要都市、人口、主要産業、歴史について、インターネットや旅行ガイドなどを利用しまとめ、理解しておくこと。

参考サイト：<https://www.france.fr/ja/destination/normandy/> [ノルマンディ]

wikipedia [ノルマンディ地域圏]、[バス＝ノルマンディ地域圏]、

〔オート＝ノルマンディー地域圏〕

参考図書：『フランス文化55のキーワード』240－243頁

〔事後学習〕：授業ノートを読み返して配布したプリントの内容を理解し、
「ノルマンディの人々のアイデンティティを形成する歴史・文化・景観」について
整理しまとめておくこと。

第4回 オー＝ド＝フランス地域圏

〔事前学習〕：オー＝ド＝フランス地域圏の地形、行政区分、主要都市、人口、主要産業、歴史について、
インターネットや旅行ガイドなどを利用しまとめ、理解しておくこと。

参考サイト：<https://www.france.fr/ja/destination/hauts-de-france/>

〔オー・ド・フランス〕

wikipedia [オー＝ド＝フランス地域圏]、[ピカルディ地域圏]、

[ノール＝パ・ド・カレー地域圏]

〔事後学習〕：授業ノートを読み返して配布したプリントの内容を理解し、
「オー＝ド＝フランス地域圏に内包される3つの地方の歴史的・文化的特徴」について
整理しまとめておくこと。

第5回 グラン・テスト地域圏

〔事前学習〕：グラン・テスト地域圏の地形、行政区分、主要都市、人口、主要産業、歴史について、
インターネットや旅行ガイドなどを利用しまとめ、理解しておくこと。

参考サイト：<https://www.france.fr/ja/destination/la-champagne/>

〔シャンパーニュ〕

<https://www.france.fr/ja/destination/alsace-lorraine/>

〔アルザス・ロレーヌ〕

wikipedia [グラン・テスト地域圏]、[アルザス地域圏]、

[ロレーヌ地域圏]、[シャンパーニュ＝アルデンヌ地域圏]

参考図書：『もっと知りたいフランス』86－87、90－94頁

『フランス文化55のキーワード』236－239頁

〔事後学習〕：授業ノートを読み返して配布したプリントの内容を理解し、
「フランスとドイツに挟まれたアルザス・ロレーヌの歴史的・文化的特徴」、
「シャンパーニュの過去の繁栄と現在の問題」について整理しまとめておくこと。

第6回 ロワール地方

〔事前学習〕：ロワール地方の地形、行政区分、主要都市、人口、主要産業、歴史について、
インターネットや旅行ガイドなどを利用しまとめ、理解しておくこと。

参考サイト：<https://www.france.fr/ja/destination/val-de-loire/>

〔ロワール渓谷〕

<https://www.france.fr/ja/destination/pays-de-la-loire/>

〔ペイ・ド・ラ・ロワール〕

wikipedia [ペイ・ド・ラ・ロワール地域圏]、[ロワール渓谷]、

[サントル＝ヴァル・ド・ロワール地域圏]

参考図書：『もっと知りたいフランス』66－70頁

『フランス文化55のキーワード』92－95頁

〔事後学習〕：授業ノートを読み返して配布したプリントの内容を理解し、
「ロワール渓谷の古城群の歴史的背景」について整理しまとめておくこと。

第7回 ブルターニュ地方

〔事前学習〕：ブルターニュ地方の地形、行政区分、主要都市、人口、主要産業、歴史について、
インターネットや旅行ガイドなどを利用しまとめ、理解しておくこと。

参考サイト：<https://www.france.fr/ja/destination/bretagne/> [ブルターニュ]

wikipedia [ブルターニュ地域圏]、[ブルトン語]、[ガロ語]

参考図書：『もっと知りたいフランス』52－55頁

『フランス文化55のキーワード』240－243頁

〔事後学習〕：授業ノートを読み返して配布したプリントの内容を理解し、
「ブルターニュの『ナショナリズム』を支える歴史的・文化的アイデンティティ」について
整理しまとめておくこと。

第8回 ブルゴーニュ＝フランシュ・コンテ地域圏

〔事前学習〕：ブルゴーニュ＝フランシュ・コンテ地域圏の地形、行政区分、主要都市、人口、主要産業、
歴史について、インターネットや旅行ガイドなどを利用しまとめ、理解しておくこと。

参考サイト：<https://www.france.fr/ja/destination/bourgogne/> [ブルゴーニュ]

<https://www.france.fr/ja/destination/montagnes-du-jura/> [ジュラ山脈]

wikipedia [ブルゴーニュ＝フランシュ＝コンテ地域圏]、

[ブルゴーニュ地域圏]、[フランシュ＝コンテ地域圏]

参考図書：『もっと知りたいフランス』84－88頁

『フランス文化55のキーワード』232－234頁

〔事後学習〕：授業ノートを読み返して配布したプリントの内容を理解し、
「ブルゴーニュ地域におけるワイン産業の成立と発展」について整理しまとめること。

第9回 ヌーヴェル＝アキテーヌ地域圏

〔事前学習〕：ヌーヴェル＝アキテーヌ地域圏の地形、行政区分、主要都市、人口、主要産業、歴史について、インターネットや旅行ガイドなどを利用しまとめ、理解しておくこと。

参考サイト：<https://www.france.fr/ja/destination/bordeaux/> [ボルドー]

<https://www.france.fr/ja/destination/biarritz-pays-basque/>

[ビアリッツ－バスク地方]

wikipedia [アキテーヌ地域圏]、[リムーザン地域圏]、

[ポワトゥー＝シャラント地域圏]

参考図書：『もっと知りたいフランス』78－83頁

〔事後学習〕：授業ノートを読み返して配布したプリントの内容を理解し、
「ボルドー地域におけるワイン産業の成立と発展」および「バスク地方の文化」について整理しまとめること。

第10回 オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ地域圏

〔事前学習〕：オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ地域圏の地形、行政区分、主要都市、人口、主要産業、歴史について、インターネットや旅行ガイドなどを利用しまとめ、理解しておくこと。

参考サイト：<https://www.france.fr/ja/destination/auvergne/>

[オーヴェルニュ]

<https://www.france.fr/ja/destination/alpes-mont-blanc/>

[アルプス・モンブラン]

wikipedia [オーヴェルニュ＝ローヌ＝アルプ地域圏]、[リヨン]、

[オーヴェルニュ地域圏]、[ローヌ＝アルプ地域圏]

〔事後学習〕：授業ノートを読み返して配布したプリントの内容を理解し、
「フランス第二の都市リヨンの発展の地理的・歴史的背景」について整理しまとめること。

第11回 プロヴァンス＝アルプ＝コート・ダジュール地域圏、オクシタニー地域圏

〔事前学習〕：プロヴァンス＝アルプ＝コート・ダジュール地域圏およびオクシタニー地域圏の地形、行政区分、主要都市、人口、主要産業、歴史について、インターネットや旅行ガイドなどを利用しまとめ、理解しておくこと。

参考サイト：<https://www.france.fr/ja/destination/provence/> [プロヴァンス]

<https://www.france.fr/ja/destination/occitanie/> [南仏オクシタニー]

<https://www.france.fr/ja/destination/pyrenees/> [ピレネー]

<https://www.france.fr/ja/destination/cote-dazur/> [コート・ダジュール]

wikipedia [プロヴァンス＝アルプ＝コート・ダジュール地域圏]、

[オクシタニー地域圏]

参考図書：『もっと知りたいフランス』56－59頁

〔事後学習〕：授業ノートを読み返して配布したプリントの内容を理解し、
「両地域に共通する特徴としてのオック語文化と古代ギリシャ・ローマの記憶」について、整理しまとめること。

第12回 コルス地方公共団体

〔事前学習〕：コルス地方公共団体の地理、行政区分、主要都市、人口、主要産業、歴史について、インターネットや旅行ガイドなどを利用しまとめ、理解しておくこと。

参考サイト：<https://www.france.fr/ja/destination/corsica/> [コルシカ島]

wikipedia [コルス地方公共団体]

〔事後学習〕：授業ノートを読み返して配布したプリントの内容を理解し、
「コルスにおけるフランス本土とは異なる独自の文化」と、
「行政面における他の地域圏と異なる特徴」について整理しまとめること。

第13回 海外地域圏および海外領土、地方と中央の関係について

〔事前学習〕：海外地域圏および海外領土の地理、行政区分、主要都市、人口、主要産業、歴史について、インターネットや旅行ガイドなどを利用しまとめ、理解しておくこと。

フランスの選挙制度について、インターネットなどの情報を整理し予習しておくこと。

参考サイト：<https://www.france.fr/ja/> [各海外地域]

在日フランス大使館サイト > フランスを知る >

wikipedia [フランスの海外県・海外領土]

wikipedia [コミューン]、[メトロポール]、[フランスの都市共同体]、

[コミューン間協力公施設法人]、

参考図書：『フランス文化55のキーワード』244－247頁、168－171頁

【事後学習】：授業ノートを読み返して配布したプリントの内容を理解し、
「海外地域におけるフランス本土とは異なる独自の文化」と、
「行政面における他の地域圏と異なる特徴」について整理しまとめておくこと。
「フランスにおける地方と中央を結びつける政治システム」について、
整理しまとめておくこと。

第14回 フランスとEUおよびグローバル世界、まとめ

【事前学習】：欧州連合(EU)の成立におけるフランスの関わりについて、
インターネットなどの情報を整理し予習しておくこと。
参考サイト：在日フランス大使館サイト > フランスを知る >
wikipedia [欧州連合]

参考図書：『もっと知りたいフランス』162-168頁
『フランス文化55のキーワード』32-35頁

【事後学習】：授業ノートを読み返して配布したプリントの内容を理解し、
「EUにおけるフランスの立ち位置」について整理しまとめておくこと。
また、今学期の授業全体をまとめて振り返りを行い理解を深めること。

授業の到達目標/Expected outcome

フランスの各地方の特色とその背景について理解し、論述することができるようになること。
フランスの各地域間のまとまりや中央とのつながりについて、説明することができるようになること。
国際的環境の中でのフランスの位置を理解し、フランスについて自分の意見を示すことができるようになること。

身につく資質・能力/Competencies to be attained

- ・ 思考力
- ・ 専門知識・専門技能
- 【外国語学部 ヨーロッパ言語学科】
- ・ 異文化理解
- ・ 世界情勢と学習言語圏の理解

履修上の注意/Special notes, cautions

毎回の出席を原則とする（特別な理由がない限り、全授業数の2/3以上の出席回数が必要である）。
授業中の私語、携帯電話・スマートフォンの操作は原則禁止とする（受講態度が目にと余ると教員が判断した場合は減点の対象とする）。

評価方法/Evaluation

授業への参加度（毎回の感想・質問など）と、学期中に課すレポート課題（2回）の内容によって総合的に評価を行います。

評価の割合は授業への参加度（毎回の小レポートなど）がまとめて50~60%程度、レポート課題がまとめて40~50%程度を予定しています。

- ・ 本授業では、毎回授業終わりに課す感想・質問の小レポートの内容を主に対象として、授業への参加度の評価を行うことになる。また、フランス各地域の特色の違いを比較しつつ、総合的に理解することを目標としている。
これらのことから、出席回数が全授業数の3分の2以上ない場合、特別な理由がない限り、原則として「／（出席日数不足）」の評価となる。
- ・ レポート課題については、moodleによって課題および注意点についてのプリントを配布します。
また提出もmoodle上でアップロードしてもらいます。
指定された期日までに提出すること。（指定期日を過ぎても提出可能だが減点）
とくにギリギリでの提出は、パソコンやネットサーバーのトラブルなども考えられるので、余裕をもって提出することを心がけてください。
- ・ 小レポートにおける感想や質問は、次回の授業の冒頭において紹介しフィードバックを行います。
またレポート課題については、最終回の授業において総評し、特に印象的だった内容についてコメントする。

教材/Text and materials

毎回の授業で使用するプリント（とくに図表など）については、moodleによって配布します。
各自ダウンロードして予習・復習に利用してください。授業内では図表はプロジェクターで表示しますが、見づらい場合もありますので、あらかじめダウンロードしたうえで自身のパソコン・タブレットなどで利用すると便利です。
また必要に応じて担当教員がプリントを用意し、授業内において配布します。

参考サイト：

- ・ 外務省 > 国・地域 > 欧州 > フランス共和国
- ・ 在日フランス大使館 > フランスを知る
- ・ フランス観光開発機構公式サイト <https://www.france.fr/ja/>
- ・ wikipedia [各項目]

参考図書：

- ・ 斎藤広宣、ベルナール・レウルス著『もっと知りたいフランス—歴史と文化を旅する5章—』
駿河台出版社、2010年。
- ・ 朝比奈美知子、横山安由美編著『フランス文化55のキーワード』
ミネルヴァ書房、2011年。
- ・ 上垣豊編著『初めて学ぶフランスの歴史と文化』
ミネルヴァ書房、2020年。

そのほか、授業中に適宜紹介します。

質問や相談の方法／Instructor contact

- ・ 授業に関する質問は、授業終了後に教室で受け付けます（毎回の授業後のアンケートでも質問を受け付けます）。
- ・ 欠席などの連絡は、担当教員のメールアドレス [moodleに記載] にて対応します。

その他／Others

- ・ 緊急の場合の連絡や重要な事務連絡は、基本的にmoodle上でお知らせすることになるので、
学生の方は各自、定期的にmoodleを確認するようにしてください。